



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月28日

上場会社名 北陸電気工事株式会社
 コード番号 1930 URL <https://www.rikudenko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢野 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 山本 英樹
 四半期報告書提出予定日 2022年1月28日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 076-481-6093

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	32,807	6.3	1,745	21.6	1,873	22.7	1,246	25.2
2021年3月期第3四半期	30,853	8.8	2,226	18.7	2,422	15.4	1,665	13.7

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,258百万円 (18.0%) 2021年3月期第3四半期 1,535百万円 (21.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	44.52	
2021年3月期第3四半期	59.49	

(注) 当社は、2022年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	52,452	38,857	74.1
2021年3月期	53,698	38,448	71.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 38,857百万円 2021年3月期 38,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		30.00	30.00
2022年3月期		10.00			
2022年3月期(予想)				20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2022年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っており、2022年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は、株式分割前1株当たりの配当予想に換算いたしますと、実質的に34円となり、4円の増配となっております。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	6.9	3,500	9.2	3,650	10.4	2,600	18.1	92.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 2022年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、2022年1月1日付で行った株式分割の影響を考慮した当第3四半期連結累計期間における期中平均株式数により算定しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	29,963,991 株	2021年3月期	29,963,991 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,971,975 株	2021年3月期	1,971,816 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	27,992,131 株	2021年3月期3Q	27,992,267 株

(注)当社は、2022年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想
2022年3月期の個別業績予想 (2021年4月1日 ~ 2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,900	7.1	3,450	△ 9.1	3,600	△ 10.4	2,550	△ 18.7	91.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 2022年3月期の個別業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、2022年1月1日付で行った株式分割の影響を考慮した当第3四半期累計期間における期中平均株式数により算定しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・参考として開示した個別業績予想は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する情報	2
(2) 連結財政状態に関する情報	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
3. 個別業績等に関する事項	9
(1) 2022年3月期第3四半期の個別業績	9
①個別経営成績(累計)	9
②個別財政状態	9
(2) 補足情報	10
①受注工事高	10
②売上高	10
③繰越工事高	10
④得意先別受注工事高・完成工事高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限が徐々に緩和されつつあるものの、企業収益や雇用情勢においては引き続き持ち直しの動きに弱さがみられるなど、依然として厳しい状況が続きました。

建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移しているものの、民間設備投資は持ち直しに足踏みがみられます。当社グループを取り巻く事業環境におきましては、建設資機材に関して供給面での制約や価格動向による下振れリスクがあり、今後の受注および施工環境に及ぼす影響について注視していく必要があります。

このような状況のもとで、当社グループは全社を挙げて営業活動を積極的に展開し、収益拡大に努めた結果、売上高につきましては、328億7百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

また、利益面につきましては、工程管理・原価管理を徹底したほか、全般にわたる継続的なコスト削減に努めたものの、建設資材の価格高騰などにより、営業利益は17億45百万円（前年同期比21.6%減）、経常利益は18億73百万円（前年同期比22.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億46百万円（前年同期比25.2%減）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等の適用により、当第3四半期連結累計期間の売上高は23億3百万円増加し、営業利益及び経常利益はそれぞれ2億30百万円増加しております。

(2) 連結財政状態に関する情報

（資産、負債、純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末における総資産額は、524億52百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億46百万円の減少となりました。これは現金預金の減少（48億91百万円）、受取手形・完成工事未収入金等の増加（29億45百万円）及び有形固定資産の増加（9億2百万円）などによるものです。

負債総額は、135億94百万円となり、前連結会計年度末と比べ16億56百万円の減少となりました。これは工事未払金の減少（6億22百万円）及び未払法人税等の減少（5億66百万円）などによるものです。

純資産総額は、388億57百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億9百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加（3億97百万円）などによるものです。なお、収益認識会計基準等の適用により、利益剰余金の期首残高が84百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、売上高は建設資材の納期遅延などにより一部の案件の進捗が伸び悩んだこと及び今年度初期に見込んでいた再生可能エネルギー関連の大型案件の受注が今年度末以降にずれ込んだことなどにより、前回発表値を下回る見込みであります。

また、利益面においても、売上高の減少に加え建設資材の価格高騰などにより、前回発表値を下回る見込みであります。

これらの要因により、2021年10月27日に公表しました予想値を下表のとおり修正いたします。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症などの影響によって修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	51,000	4,200	4,350	3,000	107.17
今回修正予想（B）	48,000	3,500	3,650	2,600	92.88
増減額（B－A）	△ 3,000	△ 700	△ 700	△ 400	
増減率（%）	△ 5.9	△ 16.7	△ 16.1	△ 13.3	
（参考）前期実績 （2021年3月期）	44,888	3,853	4,075	3,175	113.46

（注）2022年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、2022年1月1日付で行った株式分割の影響を考慮した当第3四半期連結累計期間における期中平均株式数により算定しております。

(参考)

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 50,900	百万円 4,150	百万円 4,300	百万円 2,950	百万円 105.39
今回修正予想(B)	47,900	3,450	3,600	2,550	91.10
増減額(B-A)	△ 3,000	△ 700	△ 700	△ 400	
増減率(%)	△ 5.9	△ 16.9	△ 16.3	△ 13.6	
(参考) 前期実績 (2021年3月期)	44,744	3,793	4,017	3,138	112.10

(注) 2022年3月期の個別業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、2022年1月1日付で行った株式分割の影響を考慮した当第3四半期累計期間における期中平均株式数により算定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	24,250	19,359
受取手形・完成工事未収入金等	12,438	15,383
有価証券	10	510
未成工事支出金	1,405	598
材料貯蔵品	311	324
その他	142	256
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	38,559	36,432
固定資産		
有形固定資産	11,900	12,802
無形固定資産	77	85
投資その他の資産		
その他	3,167	3,137
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	3,161	3,131
固定資産合計	15,139	16,020
資産合計	53,698	52,452
負債の部		
流動負債		
工事未払金	7,247	6,624
短期借入金	—	300
未払法人税等	820	253
工事損失引当金	54	75
その他	3,001	2,183
流動負債合計	11,123	9,437
固定負債		
役員退職慰労引当金	71	66
退職給付に係る負債	3,393	3,461
資産除去債務	126	127
その他	535	502
固定負債合計	4,126	4,156
負債合計	15,250	13,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,328	3,328
資本剰余金	2,803	2,803
利益剰余金	32,936	33,333
自己株式	△705	△706
株主資本合計	38,363	38,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	243	229
退職給付に係る調整累計額	△158	△131
その他の包括利益累計額合計	85	97
純資産合計	38,448	38,857
負債純資産合計	53,698	52,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	30,853	32,807
売上原価	25,645	28,087
売上総利益	5,207	4,719
販売費及び一般管理費	2,980	2,974
営業利益	2,226	1,745
営業外収益		
受取手数料	50	53
有価証券評価益	79	—
その他	71	77
営業外収益合計	201	130
営業外費用		
支払利息	1	0
その他	5	1
営業外費用合計	6	2
経常利益	2,422	1,873
特別利益		
固定資産売却益	8	2
特別利益合計	8	2
特別損失		
固定資産売却損	6	—
減損損失	—	23
投資有価証券評価損	—	12
その他	4	0
特別損失合計	10	36
税金等調整前四半期純利益	2,420	1,840
法人税、住民税及び事業税	556	521
法人税等調整額	198	72
法人税等合計	755	594
四半期純利益	1,665	1,246
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,665	1,246

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,665	1,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	108	△13
退職給付に係る調整額	△238	26
その他の包括利益合計	△130	12
四半期包括利益	1,535	1,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,535	1,258

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来は工事完成基準を適用していた工事請負契約のうち、一定の期間にわたり履行義務が充足される契約については、履行義務の充足に係る進捗度を見積り、当該進捗度に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は23億3百万円増加し、売上原価は20億73百万円増加し、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2億30百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は84百万円増加しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これにより、従来、時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品とされていた社債その他の債券については取得原価をもって四半期連結貸借対照表価額としておりましたが、観察可能なインプットを入手できない場合であっても、入手できる最良の情報に基づく観察できないインプットを用いて算定した時価をもって四半期連結貸借対照表価額としております。

3. 個別業績等に関する事項

(1) 2022年3月期第3四半期の個別業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

①個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	32,703	6.4	1,715	△ 21.4	1,846	△ 22.4	1,236	△ 24.5
2021年3月期第3四半期	30,745	△ 8.8	2,182	△ 17.6	2,378	△ 14.5	1,637	△ 12.8

	1株当たり	潜在株式調整後
	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	44.17	—
2021年3月期第3四半期	58.50	—

(注) 当社は、2022年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

②個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	52,170	38,780	74.3
2021年3月期	53,411	38,406	71.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 38,780 百万円 2021年3月期 38,406 百万円

(2) 補足情報

①受注工事高

	前第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
内線・空調管工事	20,503	62.8	19,614	60.8	△ 888	△ 4.3
配電線工事	7,862	24.1	8,239	25.6	376	4.8
その他工事	4,286	13.1	4,374	13.6	88	2.1
計	32,652	100.0	32,228	100.0	△ 423	△ 1.3

②売上高

	前第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
内線・空調管工事	17,202	56.0	19,186	58.7	1,984	11.5
配電線工事	7,648	24.9	7,632	23.3	△ 16	△ 0.2
その他工事	5,331	17.3	4,940	15.1	△ 391	△ 7.3
計	30,182	98.2	31,759	97.1	1,576	5.2
兼業事業	562	1.8	944	2.9	382	68.0
合計	30,745	100.0	32,703	100.0	1,958	6.4

③繰越工事高

	前第3四半期会計期間末 (2020年12月31日)		当第3四半期会計期間末 (2021年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	率 (%)
内線・空調管工事	25,087	71.8	21,031	70.8	△ 4,056	△ 16.2
配電線工事	3,604	10.3	3,666	12.4	62	1.7
その他工事	6,260	17.9	4,986	16.8	△ 1,273	△ 20.3
計	34,951	100.0	29,684	100.0	△ 5,267	△ 15.1

④得意先別受注工事高・完成工事高

当第3四半期累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

	受注工事高		完成工事高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
北陸電力㈱	484	1.5	305	1.0
北陸電力送配電㈱	10,627	33.0	10,383	32.7
一般得意先	21,116	65.5	21,070	66.3
計	32,228	100.0	31,759	100.0